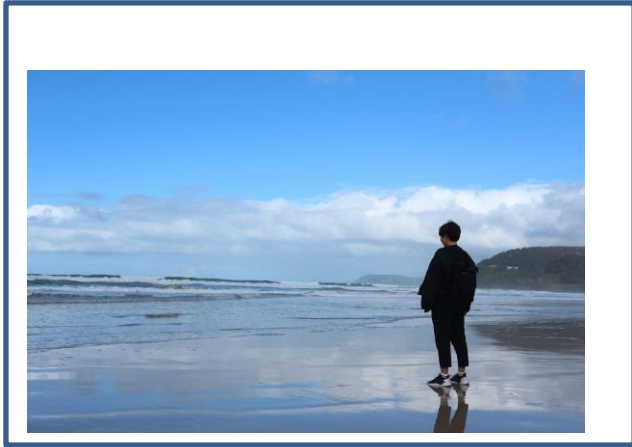


# OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



## プロフィール (Profile)

氏名 Hana Sonoda

所属 (School) 工学域電気電子系学類

学年 (Grade) 3 回生

留学先 オーストラリア

留学期間 (study abroad period)

2018/08/21~2018/09/23

記入日 (Date) 2018/10/04

## 留学レポート Study Abroad Report

今回の留学において、私自身が一番良かったと思ったことは普段出会うことのないような人たちに出会えたことである。今回の1か月間の留学は私にとって初めての留学で緊張をしており、一番不安だったのが今回の留学で知り合いが一人もいないということであった。同じ大阪府立大学からも一緒に行く人もいたが、学年や学部もバラバラでほとんど知らない人ばかりだったので日本人でさえ知り合いがいなかった。留学に出発するまでに何回か顔を合わせる機会は何回かあったがほとんど会話をすることがないまま、出発の日を迎えた。しかし、出発の日、それまであまり会話することがなかったが、一人の子が私に話かけてくれたことをきっかけに、その後の1か月間、毎日一緒に登校したり、休日には観光に行ったりと仲良くすることができた。また、大学のクラスでも、東京や福岡、横浜から来た友達が出来たり、日本人以外にも中国人の友達が大量にきた。私は、留学前、中国という国にあまり興味を持っていなかったが、大学で知り合った中国人の友達は全員優しく、素敵な人たちばかりだった。最近、ニュースでは中国に対して、しばしば悪いイメージを持ってしまふようなニュースが流れることにより、私たちの中国に対する先入観は悪くなりがちであるが、実際はそんなことはなく、とても暖かい人たちばかりだと思った。このことは、留学に行つて実際に中国の人と関わらなければ、わからなかったことだと思う。最初は一人も知り合いがいなかった状況だったが、モナシュカレッジにいた留学生たちは基本的に、こちらから話しかければ笑顔で応じてくれ、むしろ向こうから話しかけてくれたりもするので非常に友達が作りやすい環境であると思う。また、普段の友人達は育ってきた環境やおかれた環境が似ているため、話題も偏りがちであるが、留学でできた友達と話す内容というのは非常に様々である。モナシュカレッジにはもちろん、国も違えば地域も違ったり、学生でない人がもう一度仕事のために英語を学びに来たり等、様々な人がいるので、国や地域の違いやそれぞれの大学の違いであったり今まであまり話題にならないような話がたくさん聞けたので非常に自分の視野を広げるといふ点では役に立ったと思う。このように、たくさんの友達ができたおかげで私の留學生活は非常に楽しいものとなった。

楽しかったことのひとつが大学の授業である。モナシュカレッジの授業は日本の大学の授業形式とは異なり、先生も非常にフランクで生徒たちが発言する機会が非常に多い。むしろ、ずっと黙ったままでいると目立つぐらいにクラス全員が様々な発言をする。もちろん、問題を解いたり文法を学んだり基本的な作業も多くあるが、ゲームスタイルで学んだり、与えられた議題についてグループで討論したりするなど自分から動いて授業を受けることが多かったように思う。また、毎日課題が課せられるが、この課題についてのフィードバックが非常に充実していたように思う。単に成績をつけたり、間違いの箇所を指摘して添削するのではなく、こうした方がいいといったアドバイスであったり、自分自身で調べることを促すようなフィードバックが多かった。もちろん、悪いところだけではなく良いポイントも非常にほめてくれるので、私はライティングがあまり好きではなかったが、褒めてくれることにより少しやる気が出た。このおかげで、4時間という長い授業時間も毎日があつという間であった。また、授業時間外の勉強方法もたくさん用意されていた。図書館で本を借りて読んだり、先生が用意してくれる任意の英語の動画をみたりなど、自分が望めばどんどん英語の力が上がつていくような環境が用意されていたように思う。クラスメイトも全員が英語力を伸ばしたいという意識が非常に強かったので、良い刺激になった。今回は1か月間という非常に短い時間であったが、もっと長い期間滞在して、英語を完璧にしたいと思った。また、先生にも相談しやすいので、悩みなどがあれば先生に聞いたり、授業中でもわからないことがあればすぐにその場で先生に聞けるというよい授業だった。

また、他にも楽しかったこととしてはホームステイが挙げられる。私のホームステイ先には7歳の男の子と中国人の留学生がいたのだが、この7歳の男の子が非常に活発で、毎日喋りかけてくれたのでホームステイ先で暇になることはほとんどなかった。週末には男の子が大好きなモノポリーを3人でしたり、男の子が好きな007の映画をみたり、日本の文化について話したりなど、楽しい交流がたくさんできた。ホストファミリーと



は基本的に生活がバラバラであるが、ご飯は一緒に食べるので夕食の時間などに今日あったことや日本での生活など話せる機会も多かった。また、週末には頻りにホームパーティをするので全然知らない人と会話できる機会も多かった。また、中国人の留学生とも休日には一緒に出掛けたりもした。水族館に行ったり、おしゃれなカフェにいたりして楽しんだ。この留学生と出かけるときは他には日本人はおらず、会話の手段がすべて英語だったので、英語を話す良い機会になったと思う。また、向こうの生活様式は日本と若干異なる。例えば、家のなかには基本的に土足であったり、食事もの日本とは大幅に異なる。また、メルボルンは日本とは違って、非常に水不足であるため、水を大切にしている。日本で生活しているときには特に節水を頻りに意識していなかったが、ホームステイ先での生活ではシャワーのときや歯磨き、皿洗いのときなど、いかに節水できるかどうかを常に意識していたと思う。日本での生活が当たり前だと思っていた私にとって、水の問題は認識を改める良いきっかけになったと思う。

最後に今回、一番楽しんだ観光や空いている時間の過ごし方について記したいと思う。メルボルンは非常にカフェが有名で大学の近くにも有名なカフェがたくさんあったので、授業のない時間や休日には友達とカフェ巡りをした。また、時には授業がおわるとクラスのみんなでバーベキューをしたり、大学の近くに大きな中華街があるので、中国人の友達にお勧めの美味しいレストランに連れて行ってもらったり等、クラス内での交流もあった。

休日にはグレートオーシャンロードという有名な観光地に行ったのだがとてもきれいで感動した。日本にも沖縄県などの綺麗な海はたくさんあるが、オーストラリアの海は日本よりも、はるかに壮大で大規模なものだった。波もとても激しく、泳げるような海ではなかったが、絶対に日本では見るような雄大な景色を見ることができたと思う。オーストラリアは何ととっても自然豊かで、私のホームステイ先でも星がとてもきれいに見えた。グレートオーシャンロード以外にも壮大な自然の観光スポットとしてグランピアンズ国立公園やフィリップ島など様々な観光地域があるが今回は時間の都合上行くことができなかった。今後、もし、もう一度オーストラリアにくることがあれば是非、回りたいと思う。

今回、オーストラリアに1か月間留学したが、そこで得たものは語学力だけではなかった。たくさんの友達ができ、留学に行かなければ聞くこと、見ること、知らなかったことが得られたと思う。もちろん、1か月という短い時間の中で伸ばせる英語力というのは限られているが、英語を学ぶきっかけであったり、動機づくりに十分になり得る非常に充実した1か月になった。

